

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

平成 22 年度事業報告

(平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日)

年間の活動のまとめ

この 1 年は、NPO を取り巻く環境が激しく動いた年でした。

全国の NPO 支援組織 80 団体(杜の伝言板ゆるるも参画)で構成した NPO 法人会計基準協議会が、昨年、7 月 20 日に NPO 法人会計基準を策定し、その後、会計基準の普及に努めました。

また、昨年の秋から、「新しい公共支援事業」が浮上し、日本 NPO センターを中心に NPO 支援組織が「新しい公共推進事業を考える NPO 支援ネットワーク」を設立し、連携してガイドラインへの提言活動は、今年の初めまで続けました。その後、「新しい公共支援事業」は、震災が起きたことにより、その姿を大きく変え、NPO 等と自治体が連携して取り組むモデル事業の中で、「災害復興緊急事業」は特別枠となり、その予算枠の多くを占めることになりました。昨年からより使える資金となるようにネットワークが提言してきたガイドラインが、簡単に崩されてしまいました。

そして何より NPO にとって大きな出来事は、シーズの松原氏を先頭に取り組んできた NPO 法改正です。今年の 2 月開催された超党派の議員で構成された議員連盟への緊急集会には、当法人も参加し、会計基準を法に盛り込むなどの意見を発表してきました。その後の震災がより時間を縮めたかに見える特定非営利活動促進法の改正は、平成 23 年 6 月 15 日に成立しています。

当法人は、これらにしっかり関わり、それに沿った事業展開もしてきました。

しかし、当法人にとっての大きな取組みは、平成 17 年 4 月から指定管理者として運営してきたみやぎ NPO プラザの第 3 期指定管理者公募への挑戦です。昨年 9 月の申請には、これまでの 2 年間強の実績をしっかりアピールし、選考審査を経て、12 月県議会の指定管理者決定となりました。平成 23 年 4 月から新たに指定管理者として運営に当たっています。

最後に特筆すべきは、3 月 11 日発生の東日本大震災に対するスタッフの対応です。

地震発生時は、大久保代表は札幌に、主任の堀川と齋藤は休日のため、みやぎ NPO プラザに 6 人、事務局に 6 人が在所し、緊急対応をしました。

その後の救援及び復興支援活動は、別紙のとおりです。法人本来のミッションである NPO を支援することを基本に、被災地で救援活動する NPO や自治体、企業などと人やモノ、情報をつなぎました。発災後、しっかり役割を全うしたスタッフに感謝します。

■平成 22 年度重点目標に対する対応

1. みやぎ NPO プラザの 2 期最終年度の運営等を充実させ NPO へのサポートを行い、次期指定管理者として運営の担い手に再度応募する。

平成 13 年 4 月、みやぎ NPO プラザが開館して以来、NPO 支援 Web サイト「みやぎ NPO 情報ネット」の管理運用を受託し、その活用拡大と情報の受発信の充実に努めてきた。

その後、平成 16 年 4 月から、NPO 情報ネットの運用に加え、交流サロンや貸室等の運営を受託し、NPO の会計や人材育成の講座や専門相談を実施した。

さらには平成 17 年 4 月から宮城県は指定管理者制度を導入し、平成 17 年 2 月の議会において、第 1 期（平成 17 年 4 月～平成 20 年 3 月）の指定管理者として議決された。宮城県内第 1 号の指定管理者として、NPO プラザにおける NPO 支援拠点として県内の NPO 活動の発展に貢献した。

第 2 期（平成 20 年 4 月～平成 23 年 3 月）の指定管理者の募集に際し、3 年間の実績を基に、新たなるみやぎ NPO プラザの取組みを提案し、再度、指定管理者としてみやぎ NPO プラザの指定管理者となった。

次期の指定管理者の公募（平成 22 年 8 月）に際し、5 年余りになる NPO プラザと NPO 情報ネットの事業実績を掲げ、翌年 10 周年を迎える取組みを提案し、選考審査の上、平成 22 年 12 月議会において指定管理者として決定した。

2 期目の集大成として 3 月末に 3 つの企画を残していたが、3.11 の東日本大震災が発生したことにより、非常時の NPO 支援体制となり、精一杯取り組んだ。

2. NPO 法人会計基準の普及に最大限努力する。

昨年来取り組んできた NPO 法人会計基準の決定を受け、県内の NPO の信頼につなげるために、基準の普及に力を入れる。

平成 22 年 7 月 20 日、東京、市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で開催された NPO 法人会計基準協議会において、これまで 1 年半にわたり、多くの NPO 支援組織と会計・税務や研究者等の専門家とともに取り組んできた NPO 法人会計基準を議決した。

3. 会員の拡大を図る。

正会員	39 団体・個人	⇒	36 団体・個人
賛助会員	17 団体・個人	⇒	20 団体・個人
情報会員	78 団体・個人	⇒	77 団体・個人

上記の通り、会員の拡大が図られなかった。大いに反省し、課題事項として次年度に取り組むことが求められる。

活動に関する事項

1. 情報収集と提供

(1) 月刊杜の伝言板ゆるる発行

編集・発行	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	地域のボランティア・市民活動団体・NPO の活動をより多くの市民に知らせ、活動に踏み出すきっかけとなるよう、また、企業や行政がこれらの活動を理解し、協働に繋がるよう、多様な分野の情報発信を支援している。
発行形態・部数	A4版 16 ページ 8,000 部 発行日:毎月 1 日 発送日:毎月月末
配布先	約 390 箇所 仙台市内の全市民センター・各区図書館・主な公共施設。宮城県内、各 NPO 支援センター、各地方振興事務所、全社会福祉協議会、各 NPO 支援センター、全高等学校、大学、福祉系専門学校他
掲載内容	下記参照
デザイン等	表紙デザイン:千葉起世 西ノ村真由子(旧姓大林) ページレイアウト:座間智美 伊藤郁恵 堀江恵理子 板持留美子
協賛広告	東北労働金庫宮城県本部 かほく「108」クラブ
成果・課題	地域のボランティア活動・NPO・市民活動団体への広報の場や、助成金情報を定期的に提供することができた。 課題としては、会員の高齢化による会員数減少が目立つため、さらに配布先の拡大や、有料広告募集に力を入れて周知に努め、会員増加、支援団体の拡大などへの更なる努力が求められる。

【掲載内容】

	特集	トピック	トピック	掲載数	
				info	助成金
6 月号	緊張が笑顔に変わるとき・・・何か が生まれる熱い季節 NPO で高校生の夏ボラ体験 2010 参加申込受付開始!	☆子ども育成支援の活動を 応援します! かほく「108」ファン	☆決して「夢」では終わらせな い! ～みやぎ NPO 夢ファンド 公開コ ンペ開催～	29	6
7 月号	しっかり遊んで、じっくり学ぶ 夏休みだよ! NPO へ集合～っ	☆第 27 回共同連全国大会 宮城大会 NPO 法人グループゆう	☆どんな出会いが待っている? ～NPO で高校生の夏ボラ体験 2010、始動中～	31	5
8 月号	子どもの人権を守る 外国人の子ども・サポートの会 (特活)チャイルドラインみやぎ	☆緊張を成長に変える夏 ～NPO で高校生の夏ボラ体 験 2010 稼動中～		30	6
9 月号	知らなかった自分に出会えた 3 日間 NPO で高校生の夏ボラ体験 2010 終了	☆震災から二年を迎え、復興 にかける住民の想いが一冊 に! 「山が動いた 岩手・宮城内 陸地震と栗原市耕英地区」	☆市民の、市民による、市民のた めの映画祭 「ショートピース! 仙台短篇映画 祭」は 10 周年を迎えます!!	35	6
10 月号	動物も人も、幸せに暮らせる社会 を 言葉のない訴えを届けたい	☆共同シンポジウム「水辺の 自然再生一よみがえる魚た ち」 NPO 法人シナイモツゴ郷の 会	☆はじめまして NPO ステップア ップです! NPO 法人栗原市障害者就労支 援センター NPO ステップアップ	30	7
11 月号	DV 問題の現状と今後の課題 ハーティ仙台	☆実感! 社会の課題と現場 の想い 秋の NPO 訪問バスツアー報 告	☆信頼性を高め、見る人にとって わかりやすい会計報告を!! NPO 法人会計基準	33	6

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

12月号	冬もぬくぬく薪ストーブ 自然と共生する取り組み	☆「絆」を再生するために NPO 法人ワンファミリー仙台	☆祝 5周年 地域のサロン クラブハウス「恐竜やま」NPO 法 人ばざーる太白社会事業センタ ー	33	7
1月号	CLC が取り組む地域の居場所 NPO 法人全国コミュニティライフ サポートセンター	☆日本手話を広めたい ～みやぎ手話工房フロムハ ートの歩みと今～	☆みやぎ社会貢献大賞 NPO 法人麦の会に決定！	33	6
2月号	がん患者と寄り添う NPO 不安の声に耳を傾けて、笑顔に 変える活動	☆市民が運営する地域に根 差したスキー場 NPO 法人不忘アザレア	☆助成金でこんな成果が！ みやぎ NPO 夢ファンド 中間報 告会	32	5
3月号	一人ひとりに合った支援を 若者の就職、現状と課題 特定非営利活動法人ミヤギユー スセンター	☆懐かしの学び舎を拠点に 鬼首地域を元気にする 特定非営利活動法人鬼首山 学校協議会	☆「おこす」「つなぐ」「伝える」 あなたのボランティアスピリッツ に「ありがとう」を伝えたい～今 までも、これからも～	32	5
4月号	マグニチュード 9.0 の東日本大震 災 被災者の救援に動いた NPO	-	-	10	4
5月号	復興への道 ・共に創ろう気仙沼!! 特定非営利活動法人ネットワークオレンジ ・七つのプロジェクト～こころの通った支援活動を～ NPO 法人田んぼ ・大津波が直撃した石巻の救援活動 NPO 法人いしのみき NPO センター ・小十郎震災復興プロジェクト 小十郎まちづくりネットワーク ・仙台の動き ・せんだい男女共同参画財団エル・ソーラ仙台 ・仙台市北部津波災害ボランティアセンター ・仙台市南部津波災害ボランティアセンター ・宮城県災害ボランティアセンター			25	6
6月号	復興への道 ・被災しても元気です! NPO 法人夢みの里(石巻) ・高齢者ケアの NPO NPO 法人どんぐりの家(登米) NPO 法人さくらんぼくらぶ(登米) ・被災地にお茶わんを贈ろう! NPO 法人 Azuma-re(栗原) ・遊びから心のケアを NPO 法人冒険遊び場-せんだい・みやぎネットワーク(青葉区)			27	5
情報掲載件数総数				380	74

2. 情報支援・交流

(1) 情報発送支援

① 情報発送支援

毎月発送する情報誌の封筒に NPO の情報発信の機会として同封した。

発送月	団体名	チラシの内容	主催団体との関係	
22年	6月	なし		
	7月	なし		
	8月	東北労働金庫	東北ろうきん NPO パート ナ－シップ 2010	支援・協力団体
	9月	せんだい・みやぎ NPO センター	ふくふくファンド	正会員
	10月	(財)愛知揆一福祉振興会	みやぎ社会貢献大賞	正会員
	11月		なし	
	12月		なし	
23年	1月	せんだい杜の子ども劇場	ママ・パパライン仙台	正会員
	2月	せんだい・みやぎ NPO センター	みやぎ夢ファンド	正会員

	3月	社会貢献 かほく「108」クラブ	かほく「108」ファンド	賛助会員
	4月	なし		
	5月	なし		

② NPOに関する冊子類販売

冊子名	発行者（団体）	内容
NPO 会計マニュアル	NPO 法人 杜の伝言板ゆるる	簿記の知識も、経理の経験もない人が会計担当になったとき、「これだけは知っておきたい」NPO 会計の基礎
NPO 会計基準完全収録	NPO 法人会計基準協議会	NPO 法人会計基準及びガイドライン、Q&A を掲載
知っておきたいNPOのこと「増補版」	NPO 法人日本NPOセンター	「信頼されるNPOの7つの条件」と「基礎知識Q&A」などNPOを理解できる情報が満載
知っておきたいNPOのこと「協働編」	NPO 法人日本NPOセンター	「行政と協働するNPOの姿勢」「NPOと協働する行政職員の姿勢」をそれぞれの視点から掲載
NPOの会議、こうすればうまくいく	NPO 法人茨城NPOセンター コモンズ	効率的な会議を行うための準備からレイアウト、進行や事後管理まですぐに使えるアイデアを掲載。NPOに限らず、様々な会議の場でも役立つ。
NPO 法人 VS 新公益法人	NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度を作る会	NPO 法人と新公益法人、認定NPO 法人を手続き、組織、税制面で徹底比較し、法人選択のポイントを教えている

(2) 交流

① 「新しい公共支援事業」の情報交換会後

NPO法人グラウンドワーク三島さんとの懇談会

日時：平成22年3月8日（火）16:00～18:00

会場：みやぎNPOプラザ第2会議室（分）

ゲスト：佐藤和文氏（河北新報社メディア局局长）

北岡和義氏（NPO法人グラウンドワーク三島 理事）

参加人数：10名

3. 講座・研修等の企画運営

(1) 高校生夏ボラ体験2010（7月～8月）

事業名	NPOで高校生の夏ボラ体験2010
主催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
共催	かほく「108」クラブ
協賛	河北新報社12社 東北労働金庫
後援	宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 登米市教育委員会 大崎市教育委員会 石巻市教育委員会 東松島市教育委員会 名取市教育委員会 大河原町教育委員会
目的	地域の次世代の担い手となる高校生が、NPOでボランティア体験することで、地域を支えている市民主体のNPO活動を知り、その多様性などの理解促進と共に、地域が持つ課題に気づく機会とする。また、学校という管理下でありながら、ある程度の自己決定できる環境を持っていることで、自由意思のもとに決定したNPOでボランティア体験を通じ、自ら考えること、社会貢献の意思のめばえにつながることを期待する。

実施概要	<p>開催期間:平成 22 年 7 月 11 日～8 月 22 日 対象者:宮城県内の高校生 事前学習会:7 月 11 日(日)エルソーラ仙台 7 月 17 日(土)みやぎ NPO プラザ 7 月 18 日(日)大崎市市民活動支援センター (予備日) 7 月 15 日(木)・21 日(木)みやぎ NPO プラザ 体験談集発行:2011 年 1 月 13 日 体験者数:129 名(申込総数 252 名) 参加高校:23 校 受入 NPO 数:27 団体</p>
成果課題	<p>2008 年度に導入した 3 日間体験プログラムを中心としたプログラム構成にした。これにより、高校生の団体の活動への理解を高め、高校生と団体のみならず、高校生と団体利用者ともよりよい関係性を作ることだできた。その結果、多くの体験者を自発的なボランティア体験へと繋げることができた。受入団体からは、もっと体験日数を増やしてほしい、という声もあった。</p> <p>参加者の中には、将来の夢と関連させて体験に望んでいる高校生が目立った。自主的に地域の課題解決へと取り組む NPO でのボランティア体験は、学校の授業では学ぶことが出来ない経験となる。本事業は将来への一歩へ貢献する機会を提供できる良い機会となった。</p> <p>かほく「108」クラブと共催したことによる効果は、河北新報社が運営する地域 SNS サイト「ふらっと」のトップページにバナーを作成し、広報が強化されたこと、高校生に限らず一般にも当団体や夏ボラに参加する NPO について認知度が広まったことが挙げられる。</p>

(2) 第9回NPO訪問バスツアー (9月26日)

事業名	第 9 回 NPO 訪問バスツアー
主催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
共催	社会貢献 かほく「108」クラブ
協力	東北労働金庫宮城県本部
目的	ボランティア活動の現場に行くことにより、NPO や市民活動、ボランティアについて理解を深め、活動への参加や協賛につなげることで、地域の生活環境の向上に発展していくことを目的とする。
実施概要	<p>開催日時:平成 22 年 9 月 25 日 (土) 9:30～17:30 訪問 NPO:特定非営利活動法人ばざーる太白社会事業センター「恐竜やま」 特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ 特定非営利活動法人 FORYOU にこにこの家 特定非営利活動法人冒険あそび場せんだい・みやぎネットワーク</p> <p>募集人数:20 名 参加対象:NPO や市民活動、ボランティア活動に関心のある市民 参加費:2500 円 (昼食代含む) 参加人数:18 名 今年度は「ふれあいバス」(無料福祉バス) 1 号車 (車いすリフト付大型バス) に当選。</p> <p>仙台市内の NPO4 団体を訪問し、現場の見学やボランティア体験者の話を聞く。移動中は、NPO の基礎的ミニ講座を実施する。訪問終了後、出発地のみやぎ NPO プラザに戻り、交流会を実施する。</p>
成果課題	<p>今年度から、1 団体につき 3,000 円の経費支払を行った。各受入団体にも公平に運営資金を提供できたため、どの団体もとても喜んでくれていた。各 NPO は、自分達の活動を市民へ周知する機会を得られ、参加者は実際の活動を見学する事により、活動の理解を深める機会を設けられた。今後は実際にボランティア体験を盛り込むとより深い理解となりそう。また、訪問先 NPO の移動距離なども事前に検討し、1 日をより有効に使えるような課題が残った。</p>

(3) 「伝えるコツ」セミナー (日本NPOセンター 助成プログラム)

事業名	「伝えるコツ」セミナー
主催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
共催	株式会社電通 特定非営利活動法人日本 NPO センター
協力	NPO 広報力向上委員会
目的	団体の日々の活動を紹介するプロモーションビデオ (PV) を作るための基本知識を学び、市民に情報発信する為のツールについて知る機会とする
実施概要	<p>実施日時:平成 23 年 2 月 1 日 (火)10:00~16:00 会場:せんだいメディアテーク 7 階会議室 ab 参加対象:NPO、市民活動団体で活動する方で、Word の基本操作ができる方 参加費 :3,000 円 (「伝えるコツ」テキスト付) 募集人数:20 人 /参加人数:22 人 講師:池田佳代氏 (特定非営利活動法人 Our Planet-TV 理事)</p> <p>【講座内容】</p> <p>①伝えるコツ講義とワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの NPO を見直す ・市民の視点を知る ・広報のコツや手法を知る <p>②団体 PV 作成のコツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムービーメーカーで自分の団体 PV 作成ワークショップ ・作成した PV 発表 ・振り返り
成果課題	<p>参加者が講座を受けて満足するだけに終わらず、成果を持ち帰る事ができ、講座後すぐに実践できる内容のセミナーを、という目的で今回の講座を企画した。</p> <p>講師が随時参加者にテキストの音読を依頼。テキストの課題を記入し考えるといった手や頭を動かすワークショップや、実際にソフトを使って作成する時間を設けた事で、参加者の90%から満足という回答があった。チラシ作成のコツや、プレスリリースの方法も紹介したことも好評だった。</p> <p>今回早めに広報を始めたにもかかわらず、参加状況が悪い状況が続いた。直接のメールや FAX での広報を強化する事で定員を超える参加があった。コンタクトをとれる関係性を今後も継続、更に作っていく必要がある。</p>

(4) Microsoft NPO Day 2010 地域別ミーティング

事業名	『ICT スクールみやぎ』キック・オフ・イベント みやぎの NPO の IT 活用を支援する
主催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
協力	マイクロソフト株式会社 特定非営利活動法人日本 NPO センター
目的	NPO が抱える課題には IT を活用することで解決できることも多々あるが、課題と IT との結びつきを実感できない NPO も多いことから、NPO の IT 化支援をするための方法を、事例を聞きながら考える場とする
実施概要	<p>実施日時:平成 22 年 7 月 2 日 (金)13:30~16:00 会場:マイクロソフト株式会社 東北支店 セミナールーム 参加対象:NPO 支援の組織及び施設メンバー、IT 普及活動の NPO 参加費 :無料 募集人数:40 人 /参加人数:31 人</p> <p>【プログラム】</p> <p>①事例報告「NPO の IT 化を支援してきて」 講師:三澤 章氏 (あおもり NPO センター事務局長)</p> <p>②講演「IT 化をプロデュースする」 講師:藤原 正樹氏</p> <p>③IT サポート情報</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Live で広がる世界 ・Office2010 紹介 ・TechSoup 支援情報紹介
成果課題	<p>NPO の IT 化の促進を目指し、ICT スクールみやぎを立ち上げ、NPO や市民への IT 支援につなげるためのキック・オフ・イベントを開催した。</p> <p>事例紹介と講演を実施し、IT 化は目的ではなく手段である事や、組織運営に IT 化がどのように役立っているのかという道順を示せる人材が必要である事が示された。又 IT サポート情報として、新しい Office の機能やネットを活用した情報共有について情報を得る場にする事ができた。参加者から活発な質問も出るなど積極的に参加していた。</p> <p>今後具体的な活動につなげ、一過性のイベントで終了しない支援が必要である。</p>

(5) 助太刀事業

事業名	NPO 法人会計基準理解講座（宮城県助太刀事業）
主催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
共催	宮城県、大崎市
実施概要	<p>① NPO法人会計基準理解講座</p> <p>開催日時：平成 22 年 10 月 28 日（木）13：00～16：30 会場：みやぎ NPO プラザ 第 1 会議室 対象者：会計基準を使用していく NPO の役員及び担当者、税理士及び会計士などの専門家。 参加費：1500 円 参加者：30 人 講師：加藤俊也氏（公認会計士、税理士、特定非営利活動法人会計税務専門家ネットワーク専務理事、NPO 法人会計基準策定委員会委員） 内容：（1）NPO 法人会計基準策定の目的及び背景 （2）NPO 法人会計基準の概要説明 （3）NPO 法人会計基準を使った具体的な財務諸表の作成方法 （4）質疑応答</p> <p>② NPO法人会計基準理解講座in大崎</p> <p>開催日時：平成 22 年 11 月 26 日（金）13：00～16：30 会場：大崎市市民活動サポートセンター 大会議室 対象者：会計基準を使用していく NPO の役員及び担当者、税理士及び会計士などの専門家。 参加費：1500 円 参加者：14 人 講師：脇坂誠也氏（税理士、中小企業診断士、特定非営利活動法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク理事長代理、NPO 法人会計基準策定委員会副委員長） 内容：（1）NPO 法人会計基準策定の目的及び背景 （2）NPO 法人会計基準の概要説明 （3）NPO 法人会計基準を使った具体的な財務諸表の作成方法 （4）質疑応答</p>
成果課題	<p>NPO 法人が市民から活動への理解や信頼性を得るために、NPO 法人会計基準が重要であることを参加者に理解してもらえた。また、NPO 法人会計基準を使用することにより、市民にとって比較が楽になることだけでなく、NPO 法人にとっても自分の団体を見直す良いきっかけになる等のメリットについても理解してもらえた。</p> <p>参加者のほとんどが、NPO 法人で実際に会計作業を行う担当者や理事であったことから、今後 NPO 法人会計基準を取り入れた決算書が増えてくる事が期待される。アンケートの回答からは、「今後決算書作成にあたり、悩む部分もあるかと思うが取り組んでいきたい」という前向きな意見もあり、事業実施の効果が表れていたと言える。</p> <p>企業会計と比較した NPO 特有の会計についての内容等、講師の説明が明瞭だったことに加え、質疑応答の時間も多く設けたため、参加者の満足度も高かった。今回講座に参加しなかった NPO 法人にも、NPO 法人会計基準についての普及を広く継続していき、NPO セクター全体の信頼性向上に努めたい</p>

(6) 会計サポーター業務

主 催	宮城県
企画実施	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目 的	<p>特定非営利活動法人が社会の期待に応えて継続的に活動していく上で、適正かつ明瞭な会計事務処理が極めて重要なことから、特定非営利活動促進法に基づき市民への情報公開を行う会計帳簿及び計算書類の作成を始め、NPO法人の会計事務のレベルアップを図り、宮城県におけるNPO活動を促進する。</p> <p>また、併せて離職を余儀なくされた非正規労働者及び中高年齢者等の失業者に対する短期の雇用機会を創出する。</p>
実施概要	<p>受講者：3名</p> <p>1 人材育成のための研修</p> <p>(1) NPOに関する理解 会計サポート対象であるNPOについての理解を深め、NPOに関する条例等について学習した。 開催状況：平成22年9月1日、2日、3日 計3日間</p> <p>(2) 会計処理に関する研修 日々の会計処理から決算書類の作成までについて、学習した。 開催状況：研修平成22年9月17日、9月28日、9月30日、10月2日、10月27日、11月16日、11月25日、12月15日、平成23年1月25日 計9日間、 相談会平成22年10月29日、12月7日、12月21日、平成23年1月28日、2月22日、3月30日 計6日</p> <p>(3) NPO法人会計基準に関する学習 研修会やセミナー等に参加し、NPO法人会計基準の概要を学習した。 開催状況：平成22年10月1日、10月28日、11月26日 計3日</p> <p>(4) NPO会計サポートに関する実習 多様なNPO法人の会計サポートをするにあたり、現場での実地研修を行った。 また、会計税務専門相談にオブザーバーとして参加した。 開催状況：実地研修 研修先 特定非営利活動法人ゆうあんどあい、特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター、特定非営利活動法人シーズ、特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場 研修日4日間から16日間 専門相談オブザーバー 平成22年12月21日、12月21日、2月10日の計3日間</p> <p>(5) その他、NPO会計サポートに付随して必要と思われる内容の実習 派遣先NPOで必要となるWord、Excel等の基礎操作について学んだ。 開催状況：平成22年9月9日、9月24日の計2日間研修参加</p> <p>2 NPO法人会計サポーター業務 会計事務のレベルアップを志すNPO法人を対象として、NPO法人の会計事務に関する助言・指導を行った。13団体から派遣申込があり、3名の会計サポーターが各法人に派遣し、サポートを行った。</p> <p>3 NPO法人の財務状況調査及びレポート作成 宮城県内の特定非営利活動法人の財務諸表を調査。法人の財政規模、報告形態等を調査した。</p>
成 果	<p>様々な研修会やセミナーの参加や他団体での実施研修も行い、会計サポーターとして育成ができるプログラムができた。NPO法人会計サポーター業務では、希望するサポート内容としては、日々の会計処理や証憑の取扱いに関することが最も多く、現在の処理でいいのかどうか？確認してほしい、という団体もあった。そのため、派遣して少々アドバイスして終了となったり、数回訪問して終了となった団体もあった。また、初めての決算を迎えるが方法が分からない、という質問も多く、会計知識を有する人材のいないNPOにとって、会計をサポートすることの重要性を再認識した。</p>

(7) ソーシャルビジネス塾

事業名	NPOの自立を支援するソーシャルビジネス塾
主催	宮城県
企画実施	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
後援	登米市 大崎市
目的	ビジネス的手法によって地域の様々な課題を解決し、公益の増進に寄与することを志すNPO、中間支援組織及びNPO支援施設等の関係者を対象とし、社会的期待が高まりつつあるソーシャルビジネスを基礎から学ぶ講座を開催し、また、具体的なビジネスプランを有するNPOを支援すること等によって、NPOの公益的な活動の幅を広げ、宮城県におけるNPO活動を促進することを目的とする。
実施概要	<p>宮城県内の登米市、大崎市、白石市の3ヶ所において地域の課題を経営の視点を持ち、解決する企画を創造する連続講座を開講した。</p> <p>(1) 登米地域 講師: 1回目 三上亨氏(青森コミュニティビジネス研究所所長) 2～5回目 波多野卓司氏(特活杜の伝言板ゆるる理事) 講座プログラム: 11月10日ソーシャルビジネス概論、11月24日自団体の強みと可能性を洗い出す、1月12日ビジネスプラン作成のヒント、1月31日持続的事業へ向けた『商品力』『組織力』の高め方、2月26日ビジネスプランの相互検討会、個別相談を2回開催</p> <p>(2) 大崎地域 講師: 1回目 三上亨氏(青森コミュニティビジネス研究所所長) 2～5回目 古川隆氏 (宮城大学地域連携センター地域振興事業部調査研究部長) 講座プログラム: 11月11日ソーシャルビジネス概論、11月25日ビジネスプランづくりのヒント①課題、1月13日ビジネスプランづくりのヒント②戦略、1月27日ビジネスプランづくりのヒント③行動計画、2月24日ビジネスプランの発表会、NPOサポート・フィールドワーク12月5日、2月19日に開催</p> <p>(3) 白石地域 講師: 1回目 高浦康有氏(東北大学院経済学研究科准教授) 2回目 大滝聡氏(特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター理事) 講座プログラム: 11月13日ソーシャルビジネス概論、12月2日自団体のビジネステーマづくり、1月17日ビジネステーマのマーケティング、2月7日事業計画書づくり、3月5日ビジネスプランの相互検討会、NPOサポート・フィールドワーク12月12日、2月23日</p>
成果課題	<p>(1) 登米地域 参加団体は、明確にビジネスプランを持っておらず、漠然とした「何かをしたい」気持ちだけだった。参加者は、市のまちづくり協議会など様々な会に関わっている方が多く、会議や行事と重なったこともあって、講座に参加できないことが多々あった。参加した8団体のうち、最終のビジネスプランまで完成できたのは3団体。</p> <p>(2) 大崎地域 参加団体は、これから行いたい具体的な事業を考えており、ワーク作業やディスカッションを通じて、見識を深めることができた。参加団体は8団体で、最終のビジネスプランまで作りあげた団体は、5団体。</p> <p>(3) 白石地域 「今後何をしたいのか、わからない」という参加団体が多く、第4回以降からは個別指導を行い、具体的なビジネス案に落としこんでいった。参加した8団体のうち、最終のビジネスプランまで完成できたのは、3団体。</p> <p>●全体を通じて 講座は、全5回。そのうち1回は概要で最終回は発表のため、実質講座は3回×3時間の9時間と個別相談、NPOサポート。その時間内でビジネスプランまで作り上げるためには、参加者にはかなりハードな工程だった。その溝を埋めるために、各講師</p>

	<p>が個別相談を行うなど苦労が多かった。 講座受講中に何度も交わされる質問等から NPO のボランティア的活動を資金が回るビジネスに変えていくには、実施する人たちの意識の変化も必要なことが判明した。 講座終了後も、アドバイザーの個別指導など、長い目での支援が必要。</p>
--	---

4. 調査研究及び資料等の発行

(1) NPO法人会計基準策定への取り組み

平成 21 年 3 月から始まった NPO 法人会計基準策定に向けて、ゆるる代表の大久保が専門委員を担い、基準作りに取り組んできた。7 月 20 日に NPO 法人会計基準が完成した。

下記の会議に参加し、緊急集会及び学習会等を開催した。

事業名	NPO 法人会計基準「最終案」説明・意見交換会 in 仙台
主催	(特活)杜の伝言板ゆるる、(特活)あおもり NPO サポートセンター
協力	NPO 法人会計基準策定協議会
目的	<p>現在、企業会計や公益法人会計と違い、会計基準がない NPO 法人にとって何をよりどころとするのか手探りの状態が続いている。NPO が団体の活動を市民に伝えるにあたり、資金の数字だけでは表せない現実もある。そこで、平成 21 年 3 月に全国の中間支援組織により「NPO 法人会計基準協議会」が設立され、平成 22 年 4 月に NPO 法人会計基準最終案を発表。現在、平成 22 年 7 月下旬の基準決定に向け、最終パブリックコメントを集めている。今回の説明会では、東北の NPO リーダーや専門家を対象に、最終案を説明し、パブリックコメントへつなげる意見交換の場とする。</p>
実施概要	<p>開催日時:平成 22 年 6 月 1 日(火)13:30~16:00 会場:みやぎ NPO プラザ 第2会議室 対象者:宮城県内 NPO 法人会計・財務担当理事や事務局長税理士・会計士など専門家、研究者、行政職員等 参加費:1,000 円 参加者:29 人 講師:成田 由加里氏(公認会計士・税理士) 平野 由紀子氏(税理士) 大久保 朝江氏(特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事) 内容:第一部:NPO 法人会計基準「最終案」説明と、実務者のためのガイドライン紹介 1)「会計基準の論点と最終案の方向性」を用いて、NPO 法人会計基準のこれまでの経緯と基準策定の論点(担当:大久保朝江氏) 2)「NPO 法人会計基準最終案 2010.4.8」を用いて、会計基準及び注解と、個別論点の詳細(担当:成田由加里氏) 3)「実務担当者のためのガイドライン」を使用しながら具体的な説明及び Q&A や普及ツールの紹介(担当:平野由紀子氏) 第二部:質疑応答及びパブリックコメントに向けての意見交換(コーディネーター:大久保朝江氏)</p>
成果課題	<p>短い広報期間にも関わらず、会場は多くの NPO や専門家が参加し熱気に溢れ、NPO 法人会計基準への関心の高さが伺えた。行政にも呼びかけを行ったが、一人の参加もなかったことは至極残念である。 NPO からは、「会計基準を導入することにより作業の手間が増えるのでは」、「行政が受け取ってくれないのでは」、という不安の声がまだまだ多いが、今回のような質疑応答や意見交換を丁寧に行っていくことで、その不安を「民間主導で会計基準を作り上げていくのだ」という活力につなげていきたい。「NPO の信頼向上につなげるため」という本来の目的を見失わず、今後も普及に努めていきたい。</p>

(2) 被災地NPOの被災状況調査

目的	東日本大震災により被災したNPOの被災状況を把握し、復興に向けての活動資金や情報発信の後方支援活動を行う。
協力団体	特定非営利活動法人みやぎ宅老連絡会 被災地障がい者センターみやぎ(CIL たすけっと) 宮城県障害者小規模施設連絡会(特定非営利活動法人麦の会) 子どもの放課後支援を進める会(特定非営利活動法人 FORYOU にこにこの家、特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場) 放課後ケアネットワーク仙台(特定非営利活動法人アフタースクールぱるけ)
助成	(特活) 日本 NPO センター (特活) 市民社会創造ファンド
実施活動	① 被災 NPO 復興支援会議 第 1 回平成 23 年 4 月 7 日(木)、第 2 回 4 月 14 日(木)、第 3 回 5 月 6 日(金) 県内にネットワークを持っている団体に協力を要請し、被災 NPO の状況共有と調査、復興支援を行う為開催。 ② 福祉関連の被災 NPO 調査 東日本大震災後、宮城県内の介護保険事業者と障害者の自立支援事業者の NPO 法人、111 の団体に対し、県内でネットワークを持っている NPO に協力を要請し FAX またはメールにてアンケート調査を行い、51 団体から回答を得た。 建物被害状況は、51 団体中 32 団体が被害有、被害大(建替え・大規模修繕・移転・100 万円以上の補修)が 13 団体、被害小(100 万以内の補修)が 19 団体あった。 間接被害状況(3 月、4 月の売上)51 団体中 42 団体が被害。 ③ 被災 NPO 個別訪問 調査結果を踏まえ、被災 NPO12 団体の個別訪問し、助成金などの情報提供とパソコンなどの物資の提供、情報収集をした。
成果	被災 NPO 復興支援室を立ち上げ、被災した NPO の調査をし、状況確認したうえで個別訪問を行ったので、より細かくサポートすることが可能となった。被災した NPO が復興する道のりは長期にわたる為、支援する側も長期的な目線でのフォローが必要となる。情報発信をするうえで、個別訪問することが必須になるが、これにより、どのような支援が必要か見えてくる。支援するうえで、被災した NPO は団体ごとに様々な悩みを抱えているため、個別に状況を把握し、どの情報が必要で、どの団体と繋いで支援していけばいいか、スピードと情報量また、情報発信能力が必要になる。被災 NPO への助成金や県の国庫補助金などの情報が伝わっていない団体もあり、情報の提供から申請期限に間に合った事例があった。

(3) 資料等の発行

高校生の夏ボラ体験の参加者から体験談を集め、体験談集を 400 部作成、発行。

5. 講師等の派遣

(1) 講師等派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演や研修などの講師をした。

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

実施日	会場	主催	
6月2日	岩手 アイーナ	もりおか市民活動支援室 (アイディング)	NPO 法人会計基準意見交換会
6月3日	グリーンピア岩沼	宮城いきいき学園仙南校	身近なボランティア活動と実践
6月28日	東北福祉大学	東北福祉大学	NPO法人の作り方
7月13日	村田高校	村田高校	ボランティア活動
8月10日	登米市迫中央公民館	スキット	ネットワーク力と情報発信力の磨き方
8月26日	みやぎ NPO プラザ	宮城県	NPO 夜学～あなたにもできる市民活動～
9月9日	登米市迫中央公民館	スキット	想いを伝える企画書そして発信
9月29日	みやぎ NPO プラザ	宮城県	基礎から学ぶ！NPO 法人設立講座
10月12日	鹿島台公民館	大崎市	広報・チラシ等作成講座
10月13日	盛岡	もりおか市民活動支援室・ いわて県民情報交流センター	NPO 法人会計基準普及学習会
10月18日	鹿島台公民館	大崎市	広報・チラシ等作成講座
10月26日	鹿島台公民館	大崎市	広報・チラシ等作成講座
11月2日	大崎	宮城いきいき学園	豊かな地域社会づくりをめざしたシニア活動
11月9日	KKRホテル	独立行政法人 福祉医療機構	市民活動を商いの視点から考えてみよう
11月11日	登米市	スキット	「企画書」
11月12日	登米市南方公民館	登米市南方自治区協議会	お手伝いシステムを動かすネットワークづくり
11月18日	栗原市市民活動支援センター	宮城県	NPO ってなんだろう？受けて納得！NPO 基礎講座
11月19日	東京エレクトロンホール宮城	宮城県	地域が期待する地域貢献活動について
11月25日	登米市南方公民館	登米市南方自治区協議会	お手伝いシステムを動かすネットワークづくり
12月3日	北海道 NPO サポートセンター	北海道 NPO サポートセンター	杜の伝言板ゆるるからみた仙台の社会的起業について
12月9日	登米市南方公民館	登米市南方自治区協議会	お手伝いシステムを動かすネットワークづくり
1月22日	遊学舎	秋田パートナーシップ	NPOの会計基準について
2月6日	メディアテーク	仙台市社会福祉協議会	ボランティアフォーラム パネルディスカッション
2月8日	白石市役所	宮城県	行政職員のためのNPO理解講座～NPOを知る！協働を知る！
2月14日	エル・パーク セミナーホール	せんだい男女共同参画財団	職員研修 市民協働のコツ～対等なパートナーシップのために
2月17日	山元町中央公民館	山元町	指定管理者に求められること
2月17日	南相馬市まごころセンター	南相馬市	地域と共にあるボランティア活動
2月22日	気仙沼市総合福祉センターやすらぎ	気仙沼市社会福祉協議会	ボランティア活動の輪を広げよう
5月14日	柴田町青少年と障害者の自立支援センター	青少年と障害者の自立支援センターとっておきの広場	NPO法人になるということ
5月26日	みやぎNPOプラザ	宮城県	助成金の申請のポイント

(2) 審議会・委員会等の委員

行政等の審議会や委員会、評議会などの委員として、市民活動・NPOの立場から提言を行っている。

- ① 国：東北管区行政評価局行政評価懇談会（2/23）
- ② 宮城県：宮城県民間非営利活動促進委員会（6/30 2/4）
新しい公共支援事業運営委員会（4/27）
- ③ 仙台市：仙台市公益活動促進委員会にアドバイザーとして出席（10/25 11/29）
仙台市インターンシップ事業検討委員会（11/29 1/18）
- ④ その他： せんだい男女共同参画財団評議員会（3/25 5/30 11/29）
仙台国際交流協会評議員会（3/29 5/26）
せんだい豊齢学園運営委員会（12/20）
宮城県商工会連合会小規模事業広域活性化事業委員会（3/1）

(3) 助成金等審査員

- みやぎNPO夢ファンド運営委員会審査会（6/24 1/15）
せんだい男女共同参画財団助成金審査委員会及び審査会（6/6）
仙台国際交流協会助成金審査員（6/15 9/14 1/25）
愛知揆一福祉振興会みやぎ社会福祉大賞審査会（11/16 12/1）
J K A（日本競輪協会）助成金審査委員（5/24）

6. 相談・ヒアリング

- ヒアリング： 6月23日 岩手日報 鈴木氏ヒアリング取材対応
7月28日 気仙沼生活学校今野氏相談対応
1月26日 (特活)東北みち会議安藤氏ヒアリング対応
2月4日 日本工営株式会社(国土交通省東北地方整備局)ヒアリング対応
2月5日 「りらく」取材対応
4月2日 市民社会創造ファンド坂本氏他4名ヒアリング対応
4月3日 マイクロソフト社勝股氏ヒアリング対応
4月6日 東日本大震災復興NPO支援全国プロジェクト田中氏他3名ヒアリング
(社)電子情報技術産業協会長谷川氏東北ICT支援応援隊の相談
4月7日 公益法人協会金沢氏他4名NPO活動の現状ヒアリング対応
マイクロソフト社西脇氏他4人ヒアリング対応
4月8日 日本ボランティアコーディネーター協会妻鹿氏ヒアリング対応
4月12日 日本フィランソロピー協会藤原氏他2名取材対応
4月20日 都岐沙羅パートナーズ齋藤氏・大滝氏ヒアリング対応
4月21日 (株)デンソー川口氏相談対応

- 5月6日 ヒュレッドパッカー社瓜谷氏相談対応
- 5月7日 大阪ボランティア協会ボラ・バス ヒアリング対応
- 5月9日 河北新報社八波氏相談対応
- 5月21日 武蔵大学松本氏取材対応

みやぎ NPO プラザの指定管理業務として毎週水曜日に NPO 運営・法人設立相談に対応

7. 市民団体等に対する支援

全分野のボランティア育成、IT環境整備、情報発信代行、NPO理解につながる企画事業などを実施。

(1) ろうきんNPOパートナーシップ制度2010(主催：東北労働金庫)

事業名	ろうきんパートナーシップ制度
主催	東北労働金庫
協力	東北地区 NPO 支援センター 【宮城県】杜の伝言板ゆるる せんだい・みやぎ NPO センター
目的	東北労働金庫と東北地区 NPO 支援センターの『協働事業』として、「ボランティア活動に興味はあるけど、どこに行けば良いかわからない」というニーズに応えるべく企画。退職を控えた方が NPO 等でのボランティア活動を応援すると共に、地域社会への参画や新たな出会いをもたらし、地域での生きがいをサポートするもの。
実施概要	東北地区 NPO 支援センター連絡会議を開催し、企画・実施 第1回 6月4日(金) 第2回 10月22日(金) 対象者 : ろうきん友の会会員等を退職された方 休日等を利用しNPOで活動を希望される方 実施期間:平成22年8月~12月24日 活動補助:活動に係る日当・交通費・食費等の支給はなし。 ボランティア保険はろうきんで負担。 募集人数:120人(東北6県各県20名定員) 受入団体:ビートスイッチ・FOR YOU にこにこの家・オレンジねっと ・笹舟・仙台夜まわりグループ・蔵王のブナと水を守る会 ・虹色たまご・ホームひなたぼっこ 参加者数:13名
成果課題	宮城県の参加者は平成20年度から毎年増え、今年が一番多くなった。しかし、他県の参加者は多い所だと2倍くらいになる為、今後は参加者募集方法の検討が必要。受け入れ団体に参加者が一人も来ないケースもあるので、すべての団体に参加者が募るような活動をする必要がある。

(2) IT化支援NPOのネットワーク事業(委託者：宮城県)

事業名	IT化支援NPOのネットワーク運営事業
主催	宮城県(震災復興企画部情報政策課情報化推進班)
企画実施	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
目的	一般県民やNPOへのIT技術のサポートをするために、IT支援を目的とするNPO

	とのネットワークを構築する。構築されたネットワークを活用し、県民の情報リテラシーの向上を図る
実施概要	<p>①「ICT 支援 NPO ネットワーク宮城」の IT スキルアップ支援実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 指導者養成研修会 開催状況:10 開催(6/26、7/12、8/10、12/17、1/21、1/23、1/29、2/14、4/15、5/27) 1 日 4 時間、延べ 120 名 対象者:ネットワーク団体に所属し、PC スキルが一定レベルに達した指導者を指す人 ・ICT 指導者スーパーバイザー研修 開催状況:4 開催(9/24、12/20、2/16、2/17)1 日 4~7時間、延べ 25 名 ・パソコンスキル判定試験実施 開催状況:1 回(2/5)受検者数 6 名 合格級 P 検 3 級 3 名 / P 検 4 級 3 名 <p>②一般県民、NPO の IT 活用支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT スクールみやぎ開催 開催状況:2 開催(11/15、11/22、11/29)(4/27、5/11、5/18) 1 日 3 時間半~5 時間×3日間、延べ受講人数 46 人 ・研修参加者によるネットワーク団体 IT 普及活動実績(平成 23 年 5 月末) 普及活動人数 31 名・普及活動日数延べ 464 日 延べ講座受講者数 2,048 人 <p>③「ICT 支援 NPO ネットワーク宮城」サポート業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体との意見交換実施 2 回(11/5、2/25)参加団体延べ13 団体 臨時会議実施 2 回(9/7、5/10)参加団体延べ 14 団体 <p>④「ICT 支援 NPO ネットワーク宮城」拡張業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体10団体(平成 23 年 5 月末) IT 指導団体及び IT 普及に関わる団体、17 団体にネットワーク参加を呼び掛けたが新たな団体参加には5月末時点で結びついていない。
成果	<p>ふるさと雇用再生特別基金を活用して構築された県内のIT化支援NPOネットワークの運営をした。研修で学んだメンバーの活躍の場である ICT スクールみやぎの立ち上げに着手し、平成22年11月、平成23年4月、5月に開催。県民の IT 活用普及及び人材活用に貢献した。また研修参加者が団体で開催する IT 講座の活動状況を調査し、活動日数及び一般への普及人数を把握した。</p> <p>マイクロソフト ICT プログラムが平成 22 年6月末で終了し、その後 ICT 能力開発協会に移管したが、研修実施がなかった事から、今年度は新たなパソコン判定試験及び研修体制について県及びネットワーク団体間で協議した。より指導者育成に重点を置く業務とする為、平成 22 年 12 月の研修から名称を変更した。</p> <p>パソコンスキル判定試験をパソコン検定協会の P 検定で実施した他、講師資格を取得するのではなく、ネットワーク内で判定及び認定できる仕組みを模索している。インターネットが使用できる施設として研修で使用していた『せんだい・メディアテーク』が、3月11日に発生した地震で施設が損傷したことから使用できないため、みやぎ NPO プラザで研修を実施した。</p>

(3) 情報セキュリティ講座(主催 日本ネットワークセキュリティ協会)

講座名	情報セキュリティサポーター育成講座&検定試験 SPREAD 情報セキュリティサポーター講師養成講座
-----	--

主催	総務省/NPO 法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
共催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる (Spread 協働団体)
後援	総務省 東北総合通信局
運営	セキュリティ対策推進協議会 (SPREAD)
目的	多くの個人情報扱う NPO や、パソコンを指導する NPO の担当者が、セキュリティの重要性を認識して、セキュリティ意識の向上を目指す。地域におけるセキュリティサポートを担う人材育成を図る。 高度化、潜在化している情報セキュリティ脅威に対して、サポートできる人材を育成する講師を養成し、地域や NPO の活動に役立てる
実施概要	<p>①開催日時:平成 23 年 1 月 23 日(日) 9:30~16:30 会場:財団法人みやぎ婦人会館 第 5・6 研修室 参加対象:多くの個人情報扱う NPO、パソコンを指導する NPO の担当者 関心のある市民 参加費:2,000 円(受講料・教材費・検定料含む) 参加者数:30 名(申込 31 名/1 名当日欠席・早退 1 名) 講師:塚本卓郎氏(ブルースター株式会社クラウド事業部事業部長)/ 会田和弘氏(認定 NPO 法人イーパーツ事務局長)/寺田慶治氏(ドリームナビゲーター横浜 副代表)</p> <p>【プログラム】 1講座ガイダンス:SPREAD の紹介、講座の流れ、配布資料の確認 2講義(午前の部):パソコンの仕組み・設定、インターネット上の脅威 3講義(午後の部):セキュリティ対策 4SPREAD サポーター検定試験 5質疑・解説タイム</p> <p>②開催日時:平成 23 年 2 月 16 日(水)・17 日(木) 10:00~18:00 会場:みやぎ NPO プラザ 参加対象:情報セキュリティサポーター検定試験に合格又は実績のある方 参加費:2,000 円(受講料・教材費・検定料含む) 参加者数:15 名(申込 16 名/1 名当日欠席・早退 1 名) 講師:やすだ なお氏(サイバー大学 IT 総合学部 教授)/ 会田 和弘氏(認定 NPO 法人イーパーツ事務局長)</p> <p>【プログラム】 ◎1日目 1. 講座ガイダンス:SPREAD の紹介、講座の流れ、配布資料の確認 2. 講義(午前の部):ネットワークの基礎について①、② 3. 講義(午後の部):講師用パワーポイントの解説、教授法について、教授法に基づくシラバスの作成、受講生の発表、総括、 4. 質疑・解説タイム ◎2日目 1. 講義(午前の部):(脅威の分類とその対策①、②) 2. 発表(午後の部):(実践者発表(課題)) 3. 講義 (著作権とインターネットに関する法律 4. パワーポイントの講座資料作成(ワーク)) 5. 擬似講座 (作成した資料を基に擬似講座) 6. 総括</p>
成果課題	共催及び Spread 協働団体として広報及び集客、会場準備に協力した。ICT 支援 NPO ネットワーク宮城と連携し、市民向けに IT 指導を行っている担当者は 18 名参加があった。指導する団体の人材育成に貢献した。 講座では、午前・午後の講座を通じて、実例をおり込みながらの、分かり易い講義に和みながらも緊張感のある講座が行われ、参加者からも好評であった。質疑も積極的に行われ、セキュリティ意識の向上という点で成果が出た。最後に検定試験を実施し、受験した 29 名のうち 18 名が合格した。 講座内容は、ネットワークの基礎、講習計画書の作り方及び作成方法、セキュリティ

	<p>の脅威と対策、インターネット時代の法律等について、講義を聞くだけではなく、模擬講習やワークショップが行われる等、中身の濃い参加型の講習だった。「具体例があり、深い内容で認識が深まった」「体験する事で、どのように説明すればよいか感じた」「他の方の話し方が参考になった」などサポーターを育成する講師として必要とする多くの気づきを得たほか、質問に対して迅速な解答があり、感動と感謝の声が寄せられ、好評だった。</p> <p>今後に対する期待も大きく、「最新の ITトレンドを学びたい」「グループディスカッションやケーススタディによる演習をもっと行って欲しい」などの要望があった。またシニア層の受講者が多い事もあり「資料の文字が小さく読めない」という指摘もあった。</p>
--	---

(4) 被災NPO復興支援事業

事業名	被災NPO復興支援事業
主 催	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
協力 団体	特定非営利活動法人日本 NPO センター ICT 支援応援隊
目 的	東日本大震災により被災した NPO へ物資の仲介・情報提供を行うと共に、情報収集をし、復興への後方支援活動を行う。
実施 活動	<p>① 避難所へのパソコン設置仲介作業 ICT 支援応援隊と避難所を結ぶ仲介役として仙台市、名取市、多賀城市、石巻市の避難所 34 か所に 57 台のパソコンを支援した。</p> <p>② 物資の仲介 以下の物資提供あり、5 月末時点で被災した NPO26 団体に仲介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援 P)からパソコン 40 台 ・ 鹿児島 NPO センターから絵本約 1100 冊 ・ ICT 支援応援隊経由でインテル社からパソコン 4 台 ・ EPSON からプリンター2 台 ・ ヒューレットパッカード社からパソコン 4 台・プリンター8 台子供用塗り絵 1165 冊、大人用塗り絵 600 冊 ・ Google 社からはスマートフォン 9 台 ・ Softbank からは iPhone9 台の貸し出し ・ 総務省から衛星電話 3 台貸し出し <p>があり、復興活動をしている NPO や協力団体に提供し、情報の共有化に繋げた。</p>
成 果	支援するうえで、被災した NPO は団体ごとに様々な悩みを抱えているため、個別に状況を把握し、どの情報が必要で、どの団体と繋いで支援していけばいいか、スピードと情報量また、情報発信能力が必要になる。被災 NPO への助成金や県の国庫補助金などの情報が伝わっていない団体もあり、情報の提供から申請期限に間に合った事例があった。

(5) 資料等ゆるると同封

会員の NPO や連携している団体からの依頼や、名義後援のイベント等の資料を月刊ゆるる送付時に同封

会員関係 : 5 団体 6 件 支援・協力団体 : 2 件

(6) 名義後援

- ・ 特活 LEAF26 生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) 開催記念

みやぎ自然観察会及び基調講演会 (3/11～10/29)

- ・国連子どもの権利委員クラブマンさん講演会 (8/12)
- ・NPO 法人ミューズの夢 チャリティーコンサート (8/29)
- ・子どもの権利条約フォーラム in みやぎ (11/13 11/14)
- ・特定非営利活動法人フェアトレード東北
同じ過ちを繰り返さないために～子どもの人権セミナー (3/6)
- ・大國神社の山野草を守る会 第6回 かたくり祭 (4/8～4/24)

8. 宮城県民間非営利活動プラザの管理運営

(1) 施設管理

①施設利用状況 (人)

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
H22合計	95	7	9,535	2,013	2,286	692	290	895	420	14,235	322	2,098	3,148	1,665	3,633	1,791	4,957	48,082
H21合計	115	9	9,477	2,752	1,809	575	280	842	82	12,576	371	2,153	3,532	1,782	3,612	898	5,497	46,362

※NPO相談には専門相談を含む

②貸会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
H22合計	261	5,346	1,035	218	4,631	764	139	1,019	414	175	1,306	525	242	1,933	831	1,035	14,235	3,569
H21合計	274	5,368	1,117	154	2,601	691	186	1,289	532	167	1,324	589	230	1,994	784	1,011	12,576	3,713

③コピー機、印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
H22合計	18,690	1,698	20,388	3	1,382	7,147	2,729,252	146	28
H21合計	21,260	4,670	25,930	6	1,512	7,701	2,453,835	155	31

④施設見学

	NPO	行政	その他	合計(人)
H22計	9	5	1	15
H21計	10	9	3	22

⑤プラザ運営のヒアリング対応

3名、合計7名

⑥利用者懇談会

みやぎNPOプラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として年2回開催。(会場：プラザ交流サロン)

実施日時	9月15日(水) 18:30~20:00
参加者数	21名(利用者15名、県推進班2名、プラザ4名)
実施日時	2月9日(水) 14:00~15:30
参加者数	10名(利用者6名、プラザ4名)

⑦事務室等施設使用団体選考審査会

民間非営利活動拠点施設条例により、事務室・ショップ・レストラン使用団体を公募し、選考審査会において決定した。

- ・第1回：8月24日(火)、事務室(中)使用団体決定
- ・第2回：2月23日(水)、事務室(中)(小)、レストラン使用団体決定

(2) 企画事業実施状況

①NPOの運営一般および税務・会計に関する専門相談

- ・専門相談(71件)
- ・窓口相談(207件)

	H22計	H21計
会計・税務	15	16
雇用なんでも	3	4
経営	6	—
法人設立・団体運営	47	46
合計	71	66

②NPOの運営一般に関する研修(マネジメント講座)

- ・みやぎNPOプラザ会場…7講座開催、162名受講
- ・出前講座(栗原市、白石市)…2講座開講、43名受講
※3/22に大崎市で予定していた講座は震災のため中止。

③NPOの税務・会計に関する研修(会計・税務講座)

- ・みやぎNPOプラザ会場…5講座開催、112名受講
- ・出前講座(石巻市、大河原町)…2講座開講、41名受講
※3/15にみやぎNPOプラザで予定していた講座は震災のため中止。

④NPO支援連携事業

- ・マネジメントおよび会計・税務の出前講座開催は、地元行政やNPO支援組織からの協力を得て開催した。
- ・登米地域連携交流会「みんなでつくる市民活動 登米 魅力発見！」広報協力およびプラザ紹介ブース出展

(3) 50歳からのNPO実践塾

①第5～7期実践塾

	第5期(全5回)	第6期(全6回)	第7期(全5回)
--	----------	----------	----------

実施回数/ 実施日程	5/1(土)、5/15(土)、5/29(土)、6/12(土)、6~7月の希望日(活動体験)、7/3(土) ※時間 14:00~16:00	9/11(土)、9/25(土)、10/2(土)、10/16(土)、10~11月中の希望日(活動体験)、11/20(土) ※時間 14:00~16:00	1/29(土)、2/5(土)、2/19(土)、4/2(土)、4/9 ※時間 14:00~16:00 ※3月に予定していた2講座は震災のため4月に実施
参加人数	11名	4名	12名

②フォローアップセミナー

卒業生を対象に、近況報告や交流および情報交換を行うため、8月21日(土)、12月11日(土)に2回開催。

(4) NPO・ボランティアに関する情報収集と発信

①みやぎNPO情報ネット

・更新件数

	訪問者数	新規データアップ				取 り 下 げ の 変 更 ・	更 新 T O P 変 更 ・	企 画 事 業	相 談	団 体 検 索 登 録	宮 城 県 推 進 班	市 町 村 ・ 宮 城 県 ・	国 ・ 宮 城 県 ・ そ の 他 更 新	合 計	管 理 日 数
		ゆ る る 提 供	情 報 ネ ッ ト	プ ラ ザ 窓 口	助 成 金										
H22合計	272,080	241	316	536	235	1,885	273	191	30	33	16	21	482	4,259	260
H21合計	248,395	194	264	510	202	1,454	281	125	24	140	119	10	363	3,686	253

・年次記録

年度	年	情報アップ数	アクセス数 (トップページ)	アクセス数 (訪問者数)	アクセス数 (セッション数)	閲覧ページ数 (~2008.06)	ページビュー (2008.07~)
13	2001	617	23,298	-	-	-	
14	2002	935	32,840	-	-	-	
15	2003	888	47,878	331,687	-	612,140	
16	2004	918	52,613	197,352	-	613,557	
17	2005	871	-	217,825	-	568,013	
18	2006	912	-	269,763	-	775,292	
19	2007	757	-	243,979	-	1,298,171	
20	2008	817	-	77,638	122,863	385,672	505,485
21	2009	968	-	-	248,395	-	788,388
22	2010	1,093	-	-	272,080	-	952,038
累計		8,776	156,629	1,338,244	371,258	4,252,845	1,293,873

②ブログ版みやぎNPO情報ネット

・ブログ更新件数

	新規エントリー数						合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	50歳からの NPO実践塾	プラザまつり	東日本大震災	NPO法人 認証情報	
H22年度 累計	11	162	22	24	21	26	266
H21年度 累計	3	157	-	-	-	35	195

③みやぎNPO情報ネット メールマガジン

- ・発行日：毎月1日（1月のみ4日）
- ・登録者数：336名

	NPO支援情報 (トピックス)	NPOプラザ からのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H22年度 累計	60	35	100	52	0	247
H21年度 累計	63	31	67	54	1	216

④「One to One」発行

- ・発行日：年6回 5、7、9、11、1、3月の1日
- ・発行部数：3,000部
- ・仕様：A3判 2ツ折り カラー1色印刷

⑤「月刊杜の伝言板ゆるる」プラザページ発行

- ・発行日：毎月1日
- ・発行部数：8,000部
- ・仕様：A4判 1ページ カラー1色印刷

⑥NPO発行の図書販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等の販売を代行。

- ・受託団体数：7団体（指定管理団体含む）
- ・書籍の種類：16種類
- ・総販売数：135冊

(5) 共有スペースを活用した各種交流イベントの企画・運営

みやぎNPOプラザまつり2010の開催

NPOの理解を拡げることを目的に、みやぎNPOプラザとプラザの事務室やショップ、レストランを使用している団体とで実行委員会を構成し、開催した。

主 催	みやぎNPOプラザまつり2010実行委員会
後 援	河北新報社、NHK仙台放送局、みやぎの区民協議会
日 時	平成22年10月17日（日）10:00～15:00
会 場	みやぎNPOプラザ全館
来館者数	約930名（来場者750名、参加団体160名、当日運営スタッフ20名）

(6) 県内のNPO支援施設やNPO中間支援組織の機能向上を目的とした研修の開催

NPO支援センタースタッフのためのスキルアップ研修を開催。

- ・第1回「認定NPO法人を学ぶ」6/29（火）開催
- ・第2回「NPO法人会計基準を学ぶ」10/1（金）開催
- ・第3回「NPOの経営力を高めるソーシャルビジネスを探る！～SB塾成果発表会」→3/24（木）開催予定だったが、東日本大震災のため中止。

(7) みやぎNPOプラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ評議会設置要綱に基づき、年度内2回開催。

- ・第1回：5月21日（金）10:00～12:00
- ・第2回：1月19日（水）13:30～15:30

組織運営に関する事項

1. 総会の開催

平成 22 年度定時総会を開催

開催日時：平成 22 年 7 月 24 日(土) 14:00～15:30

場所：みやぎNPOプラザ

議案：21 年度事業報告及び決算

22 年度事業計画及び予算

22 年・23 年度役員の変更

2. 理事会の開催

理事会開催 年間12回開催

	開催日		開催日
第 72 回	6 月 25 日 (金)	第 78 回	12 月 22 日 (水)
第 73 回	7 月 8 日 (金)	第 79 回	1 月 27 日 (木)
第 74 回	8 月 20 日 (金)	第 80 回	2 月 21 日 (水)
第 75 回	9 月 14 日 (火)	第 81 回	3 月 29 日 (火)
第 76 回	10 月 8 日 (金)	第 82 回	4 月 18 日 (月)
第 77 回	11 月 12 日 (金)	第 83 回	5 月 26 日 (木)

3. 会議

(1) スタッフミーティング 毎月第1月曜日 12回

事務局スタッフ及びNPOプラザスタッフ合同の研修・打合せ

開催日：6月7日 7月5日 8月2日 9月6日 10月4日 11月1日

12月27日 1月31日 2月28日 3月28日 4月25日 5月30日

(2) 編集会議 11回 (5/7 6/3 7/22 9/25 10/5 11/4 12/16 1/6 2/28 4/7 5/30)

この他、メールでの情報共有を図った。

(3) 事務局会議 スタッフ全体ミーティング前後や事業担当者と個別に随時 実施

(4) プラザ運営主任打合せ 検討事項が発生した時点で随時打合せを行った。

4. 会員 (平成 23 年 5 月 31 日現在)

正会員 36 団体・個人

賛助会員 20 団体・個人

情報会員 77 団体・個人

5. 事務局員体制（平成 23 年 5 月 31 日現在）

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局（宮城野区榴岡3-11-6）

代表理事：大久保朝江

常勤職員：本保志保・小沼亮・村上千恵・小林しのぶ

非常勤職員：都築秀穂

(2) みやぎNPOプラザ勤務（宮城野区榴岡5）

館長：大久保朝江

常勤職員：堀川晴代・庄司真希・池田節子・佐藤明日香

清野利之・斎藤真利男・下澤隆則

非常勤職員：相原いづみ・石井則江・佐々木ひろみ

6. 職員研修

(1) 研修

役割に応じた研修に参加し、それぞれのスキルアップを図った。総数 18 回 延べ 35 名

日時	研修名
5月21日	「仙台市シニア活動支援センター推進ネットワーク」活用情報交換会(1名)
6月29日	第1回NPO支援センター研修 認定NPO法人制度を学ぶ(4名)
6月8日	みやぎNPO情報ネットに関する研修(2名)
7月2日	Microsoft NPO Day 2010 地域別ミーティングICTスクールみやぎキック・オフ・イベント～みやぎのNPOのIT活用を支援する～(4名)
7月16日	NPO税・法人制度改革学習会in仙台(2名)
7月29日	ボランティア活動支援業務担当者向け研修 ボランティア・コーディネーションの基礎を学ぶ(1名)
7月9日	みやぎNPO情報ネットに関する研修(2名)
9月29日	ボランティア活動支援業務担当者向け研修 ボランティアコーディネーターの8つの役割を学ぶ(1名)
9月30日	障害者自立支援法を学ぶ(1名)
10月1日	第2回NPO支援センター研修 NPO法人会計基準を学ぶ(2名)
10月28日	NPO法人会計基準理解講座 ～新しいNPO会計基準を使おう～(1名)
10月19日、20日	防火管理講習(1名)
11月18日、19日	地方におけるコミュニティビジネス育成・支援ノウハウ移転プログラム 移転先団体担当者・全体研修会(1名)
11月22日、23日	市民セクター全国会議2010 今こそ発揮！意志ある行動(1名)
1月23日	SPREAD 情報セキュリティサポーター検定講座(3名)
2月1日	「伝えるコツ」セミナー(3名)
2月15日、16日	地方におけるコミュニティビジネス育成・支援ノウハウ移転プログラム 移転先団体担当者オプション研修会(2名)
2月16日、17日	SPREAD 情報セキュリティ・サポーター育成講師養成講座(3名)

(2) ボランティア1日体験

7/31～8/22 スタッフ 3 人が下記の8団体にて1日ボランティア体験を実施。

実施日	体験先
7月30日(金)	(特活) ほっとあい
8月4日(水)	(特活) くもりのち晴れ
8月6日(金)	(特活) ソキウスせんだい
8月11日(水)	(特活) せんだいファミリーサポート・ネットワーク
8月11日(水)	(特活) ホームひなたぼっこ
8月20日(金)	(特活) 萌友

7. ボランティア

事務局及びNPOプラザにて5人のボランティアを受け入れ、209時間の協力を得た。

	月刊ゆるる		NPOプラザ		計
	データ入力	発送	プラザ祭り	プリンターケア	
有馬昭洋	86.7	19.6	6		112.3
吉田昭雄		20.8			20.8
鈴木広明		11			11
平野明			4		4
今部俊江				61.25	61.25
計	86.7	51.4	10	61.25	209.3

総時間数：209.3時間

8. 研修受け入れ

- ・宮城県教員10年研修として2名を受入
期間：平成22年7月11日、28、29日 受入場所：ゆるる事務局及びNPOプラザ
- ・宮城県中小企業団体 新卒者就職応援プロジェクトとしてインターン1名を受入
期間：平成22年7月1日～8月31日 受入場所：ゆるる事務局

9. 他団体との連携や協働の推進

(1) 会員として連携

- ① NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- ② NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク（総会出席 9/5 開催地：金沢）
- ③ NPO法人日本NPOセンター（総会出席：5/27）
- ④ NPO法人シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会
- ⑤ NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会（連絡会出席：10/1）
- ⑥ NPO法人会計基準協議会（協議会出席：11/14 2/2 4/8）

(2) 委員や事業等

- ① NPO法人日本NPOセンター
評議員（平成22年度～） 会議出席：5/27
NPO Day 地域別ミーティング会議（7/2 12/8）
CEO会議に出席（7/19 10/20・21 11/24 3/2 ）
- ② NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
評議員 会議出席：10/6
- ③ NPO法人せんだい杜の子ども劇場 評議員
- ④ NPO法人みやぎ宅老連絡会
東日本大震災 被災NPO実態調査で協働
- ⑤ 宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター
月刊杜の伝言板ゆるる「こ・ら・ぼ」ページを協働発行（～2011.03月号で終了）
東日本大震災「宮城県災害ボランティアセンター」の協働団体として連携
- ⑥ 東北労働金庫
高校生の夏ボラ体験パンフレットに協賛広告掲載ほか、ろうきんNPOパートナーシップ制度で協働。NPO訪問バスツアーで協力を得る。
- ⑦ 東北NPO支援センター連絡会
情報交換及び交流
- ⑧ かほく「108」クラブ
かほく108ファンドの募集告知の協力をしたが、震災により、募集を中止。
高校生の夏ボラ体験に共催団体としてかほく「108」クラブから資金提供あり。
- ⑨ NPO法人会計基準協議会
2010.7.20までNPO法人会計基準策定委員会の下での会計基準専門委員として基準作りに参画（6月1日、6月2日、7月7日、7月20日）
2010.10～NPO法人会計基準協議会世話団体及び専門部委員で参画（10/19）
- ⑩ NPO日本ネットワークセキュリティ協会
情報セキュリティセミナー開催（1/23 2/16・17 ）
SPREAD 協働団体会議（2/26）
- ⑪ NPO法人パートナーシップサポートセンター
パートナーシップ大賞審査の地域調査を担った。

10. 組織の広報及び理解促進

(1) ホームページ等の運用

- ① ホームページ <http://www.yururu.com/> を活用し、組織の情報公開を進めたほか、実施事業や求人情報を随時掲載した。
- ② 事務局ブログ（CANPAN）

【ホームページ／お知らせ 31件】

月	件数	月	件数
6月	3	12月	4
7月	2	1月	3
8月	3	2月	2
9月	4	3月	2
10月	5	4月	1
11月	1	5月	1

【事務局ブログ 81件】

月	件数	月	件数
6月	15	12月	5
7月	3	1月	0
8月	3	2月	0
9月	3	3月	25
10月	3	4月	13
11月	0	5月	11

(2) 事務局通信を発行

目的：事務局で常に動いている事業について、会員の方々にご理解いただくために発行している。トップページに「理事からの言葉」を設け、団体の『顔』がよく見えるように努め、団体の存在意義を知らせる貴重な場とする。

発行日：奇数月発行（年6回 7月・9月・11月・1月・3月・5月）

発行部数：約 200 部

発送先：正会員・賛助会員・情報会員

掲載内容	<p>7月号 理事の言葉「メディア」としての「ゆるる」 P2～3 夏ボラ、ろうきんパートナーシップ、ICT 事業、研修報告等</p> <p>9月号 理事の言葉「2010 年度のゆるるは・・・」 P2～3 夏ボラ 2010 報告、NPO の IT 化支援、NPO 会計基準等</p> <p>11月号 理事の言葉「ビジネスの原点に立ち返って ～ゆるるでの活動を通じて考えたいこと～」 P2～3 秋の NPO 訪問バスツアー、会計サポーター養成研修、 ソーシャルビジネス塾開催、みやぎ NPO プラザまつり 2010 等</p> <p>1月号 理事の言葉「あけましておめでとうございます～兔年は飛躍の年！？～」 P2～3 市民セクター全国会議 2010 レポート、 会計サポーター研修報告、(特活) 都岐沙羅パートナーズセンター研 修報告</p> <p>3月号 理事の言葉「海賊業界の新潮流？に学ぶ～ピラミッド型 or フラット 型～」P2～3 新寄付税制・NPO 法改正最新報告、SPREAD 講座報告、 「伝えるコツセミナー」報告</p> <p>5月号 理事の言葉「震度 6 強の東日本大震災～NPO 支援組織の役割は・・・ ～」P2～3 地震後の事務局、みやぎ NPO プラザ報告、新スタッフ紹介</p>
成果 課題	「月刊ゆるる」や「One to One」(みやぎ NPO プラザ編集)の誌面上ではあまり登場しない、ゆるるが実施している活動の動き等を会員の皆様に知らせるツールとなっている。

(3) メディアでの広報

以下の媒体で取り上げられた。

日付	記事内容
6月1日	河北新報朝刊 NPO のための「会計初級講座」紹介記事
6月17日	河北新報朝刊 NPO のための専門相談 紹介記事

7月9日	河北新報朝刊 NPOのための専門相談 紹介記事
7月16日	河北新報朝刊 NPOのための専門相談 紹介記事
7月18日	河北新報朝刊 NPOで高校生の夏ボラ体験2010 事前学習会 紹介記事
8月6日	河北新報夕刊 NPOのための専門相談 紹介記事
8月13日	河北新報朝刊 NPOのための専門相談、経営相談 紹介記事
8月23日	河北新報朝刊 「NPO夜学—あなたにもできる『市民活動』」 紹介記事
9月10日	河北新報朝刊 50歳からのNPO実践塾！ 紹介記事
10月16日	河北新報朝刊 みやぎNPOプラザまつり2010 紹介記事
10月21日	河北新報夕刊 NPO法人会計基準理解講座 紹介記事
11月1日	大崎市広報 NPOの自立を支援するソーシャルビジネス塾(大崎会場) 紹介記事
11月1日	登米市広報 NPOの自立を支援するソーシャルビジネス塾(登米会場) 紹介記事
11月4日	河北新報朝刊 ICTスクールみやぎ「パソコンで生活をもっと楽しく」 紹介記事
11月8日	大崎タイムズ NPOの自立を支援するソーシャルビジネス塾(大崎会場)
12月10日	ろうきんパートナーシップ広報ラジオ3 出演
1月18日	河北新報朝刊夕刊 みやぎNPOプラザ会計税務講座「法人税を学ぶー収益事業にかかる税金」 紹介記事
1月20日	河北新報朝刊夕刊 広報に悩むNPOのための「伝えるコツ」セミナー 紹介記事
2月4日	河北新報夕刊 みやぎNPOプラザ レストラン事務室入居団体募集 紹介記事
2月28日	りらく 3月号 スペシャル鼎談 「人が生き生きと暮らす社会をつくりたい その想いを集めて市民協働の力に」奥山市長、せんだい・みやぎNPOセンター常務理事紅邑氏、大久保朝江氏対談記事
3月1日	県政だより3月号 あなたの身近なNPO NPO活動紹介記事
4月19日	河北新報夕刊 生活応援パソコン活用初級講座 紹介記事
4月20日	FMたいはく ラジオ番組出演(4/13収録)